



まちづくり協議会だよい

発行：厚見まちづくり協議会

令和5年3月15日発行

「厚見まちづくり協議会の1年を振り返って」

厚見まちづくり協議会 会長 大野 一生

今年度もコロナ禍での活動となりました。人々がふれあう機会も減り、地域の絆の希薄化が懸念される昨今ですが、役員ならびに会員の皆様には「厚見まちづくり協議会」の活動にご尽力いただき深く感謝申し上げます。

このような状況下ではありますが、感染防止を最優先に考えながら、児童生徒の登下校時やひとり暮らし高齢者の見守り活動に加え、グラウンドゴルフを通した会員相互の健康づくりや親睦に努めています。

また、厚見小学校の3年生、4年生を対象に狂俳の授業を実施し、その際の作品を行燈に貼り付けて秋まつりに体育館で展示も行い、12月には青少年育成市民会議やPTCAと共に「夢づくりふれあい事業」を実施し、厚見小学校の児童約340人の皆さんと、花餅づくりやグラウンドゴルフ体験を通して、三世代交流が図れた事は大変有意義でありました。

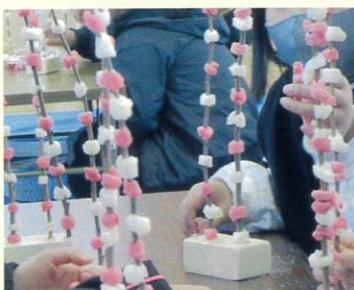
このように、学校も含めた各種団体との協力や情報共有等は、見守り活動を始め、各事業を推進していく上でも今後益々必要と考えられますので、その連携強化に向けての取り組みも進めてまいりたいと思います。

コロナ発生から丸3年が経過し、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを現在の「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」へと、移行に向けての検討も進んでいるようですが、コロナそのものが終息した訳ではないので、しばらくはこれまで通り感染対策を講じつつ、活動の幅を少しずつ広げていけたらと考えています。

引き続きのご協力・ご参加をお願いいたします。



厚見まちづくり協議会☆令和4年度活動報告



きれいに出来た花もちに歓声!!



花もちの枝を着ける台作り作業



花もちの短冊作り作業



各世代交流部会

花ちづくり



小学生340人が花もちづくりに挑戦

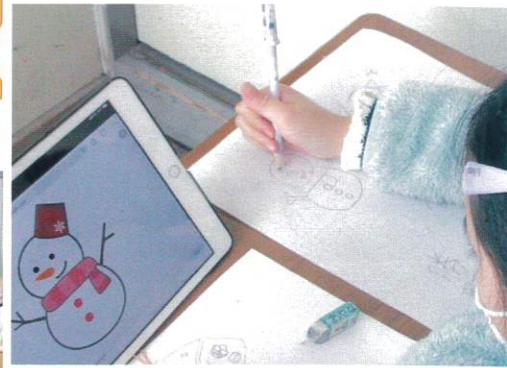


狂排の授業で作品つくり

福祉・子育て部会

狂排授業と行燈づくり

A classroom setting where people are participating in a Kōhai class and making lanterns. A teacher is standing at the front, and students are seated at desks, working on their projects.



狂排の授業で作品つくり



狂排作品発表の行燈で展示



狂排の授業で作品つくり



狂排作品発表の行燈で展示



展示発表を終えた行燈から作品をはがす作業



作品発表のため狂排作品を行燈に貼り付け作業



マスクの着装で元気に登下校



安心・安全部会



見守り隊は地域ごとに実施



日頃の練習成果に心をこめて



健康増進事業



6月27日 71名の参加にて開催



大会参加者の皆さん